

## <石碑のデザインについて>

みんなで石碑の形状や大きさなどをどうするか話し合っていた時、歴史好きのある生徒が発言します。

「鎌倉の板碑の形がいいのではないか？」

「鎌倉の板碑って何？」  
別の生徒が尋ねます。

すると彼は、得意そうに話しました。

女川には鎌倉時代初期の板碑があること。

石巻地方でも最大の大きさであること。

板碑は、今の卒塔婆(そとば)のこと。

当時鎌倉からやってきた武士団が女川に住みつき、地震や津波などの大災害でなくなった家族や地域の人たちを供養する碑として建立したこと。

そして、災害から命を守るために創ったものだと考えられること。

それらの板碑に共通しているのは、右上側が高く、左が低い形になっていること。

だから、「僕たちの石碑も右側を高くしたものにしてみないか？」と。

この発言を聞いたみんなは、母と祖父母を津波でなくしたその生徒の、家族の慰霊碑にしたいという気持ちを一瞬で理解し、満場一致でデザイン案が決まりました。